

令和 7 年度 第 3 回 認知症介護実践研修

認知症介護実践者研修（広島市：第 2 回目）

開 催 要 綱

1 研修目的

認知症についての理解のもと、本人主体の介護を行い、生活の質の向上を図るとともに、行動・心理症状（BPSD）を予防できるよう認知症介護の理念、知識・技術を修得するとともに、地域の認知症ケアの質向上に関与することができるようになることを目的とします。

2 研修実施団体

公益社団法人 広島市老人福祉施設連盟

3 研修日程（講義内容や講師等は別記のとおり）

【講義・演習・まとめ】

令和 7 年 10 月 29 日（水）・10 月 30 日（木）、11 月 19 日（水）、11 月 20 日（木）、
令和 8 年 1 月 9 日（金）午後

【職場実習】

4 週間（書類提出日は、講義中にお伝えいたします。）

⇒※中間指導日 令和 7 年 12 月 3 日（水）

※講師等が職場に連絡を行うことがあります。

職場への出勤は必要ありませんが、勤務日でない場合は、連絡が取れるよう上司や事務スタッフに対応をお願いしておいてください。

4 研修会場

【講義・演習・まとめ】

広島市総合福祉センター ホール

広島市南区松原町 5 番 1 号 BIGFRONT ひろしま西棟 5 階

※注：公共交通機関又は近隣の有料駐車場を利用してください。

5 研修対象者

広島市が令和 7 年度広島市認知症介護実践者研修受講生として決定した者

6 研修打ち切り

- ① 広島市の募集要項の研修対象者の要件を満たさなくなった者
- ② 欠席、遅刻、長時間の離席（感染症や交通事故などやむを得ないと認めた場合を除く）
- ③ 他の受講生の受講を妨げる言動等で講師の指示に従わない場合
- ④ 提出書類が提出期限、記載方法、上司の確認などを含めて講師の指示に従わない、
又は講師への不適切な言動をおこなったとみなした場合
- ⑤ 職場の協力が得にくく職場実習が進まないと認めた場合
- ⑥ その他、研修継続が困難と認めた場合

7 参加費

- ① 受講料 29,000 円（税込・テキスト及び資料代含む。）
※令和 7 年 10 月 16 日（木）までに振込してください。（振込手数料はご負担ください）
振込先等は別添の「受講料についてのご案内」を参照ください。

※振り込まれた受講料は、次の場合を除き返金はいりません。

- ア) 感染症や交通事故などやむを得ないと認めた場合
イ) 10 月 23 日（金）までに辞退の申し出があった場合
（ア、イともに、返金は振込手数料を差し引いた金額となります。ご了承ください。）

- ② 昼食代 1 食 600 円／お茶付・税込（別添「お弁当注文について」で申込みの方のみ）
注文書で指定された研修日の朝、その都度必要日数分を受付にお支払いください。
（釣銭の準備が少ないです。ご協力ください。）
（研修当日の注文及びキャンセルは不可です。）

8 研修の修了

全てのカリキュラムを修了した者に対し、修了証書を交付します。

9 研修参加にあたっての注意事項

- ① テキスト一式は当日配付します。（追加資料がある場合、随時配付します）
② 感染症防止のため、研修中はマスク着用にて参加をお願いします。
③ 研修は全日程を全て受講する必要があります。上司の方は受講出来るよう勤務調整などご配慮ください。
④ 職場実習では、自施設にて日常業務を行いながら設定した課題に 4 週間取り組むことが必要です。上司の方はご配慮ください。
⑤ レポート提出、指導者のコメント等、は必ず、職場のメール又は職場貸与のメールで送受信してください。（私用の個人アドレスは使用不可です。）
⑥ 研修テキストの著作については、認知症介護研修センター、広島市認知症介護指導者及び老施連に帰属しますので、当研修外では使用しないでください。
なお、ホームページ等で公開されているデータ等についてはこの限りではありません。
⑦ 受講を辞退される場合は、施設から必ず広島市（地域包括ケア推進課）に申し出てください。
（老施連では決定者の変更等はできません。必ず広島市担当課へ申し出てください。）
⑧ 体調不良等で欠席、遅刻される場合は、施設長から事務局にご連絡ください。

10 個人情報の取扱い

研修の実施あたり、取得した受講者の個人情報（市から提供された情報を含む）は、この研修実施に必要な範囲で利用します。その他の目的での利用、他への提供等は法令の定めにより取り扱います。（受講生名簿を作成し、講師・受講生に配布します。）

11 担当

公益社団法人広島市老人福祉施設連盟 事務局（担当：鍋島・井上）

TEL：(082) 207-0567

Email：renmeikenshu@roushiren-hiroshima.jp（研修専用）

※研修当日（緊急連絡先 8：30～9：00 に限る。）：080-8072-2779

別記 講義内容、講師等

(1) 講義内容等

日時	テーマ	講師氏名	目的
1 日 目	受付(9:05～)		マスク着用・アルコール消毒励行
	9:30 オリエンテーション 開会挨拶	公社) 広島市老人福祉施設連盟 研修部会	
	9:40 1 認知症ケアの基本 認知症ケアの理念・ 倫理と意思決定支援	コーディネーター 岩本 陽子	認知症の人が望む生活を実現するため、認知症ケアの歴史的変遷や認知症ケアの理念、認知症の原因疾患、中核症状、行動・心理症状(BPSD)の発症要因、認知症ケアの倫理や原則、認知症の人の意思決定支援のあり方について理解を深める。
	12:40		
	昼休憩 (50 分)		
	13:30 1 認知症ケアの基本 支援のためのケアの 演習 1 (1)	コーディネーター 池野 啓介	食事・入浴・排泄等の基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の有する能力に応じたケアとして生活環境づくりやコミュニケーションを理解する。
	17:30		
	～18:00	事務連絡等	
2 日 目	受付(9:05～)		
	9:20 1 認知症ケアの基本 支援のためのケアの	コーディネーター 池野 啓介	1 日目第 2 講義 (続)
	10:20 演習 1 (2)		
	10:30 1 認知症ケアの基本 QOL を高める活動と	コーディネーター 梶原 宣志	認知症人の心理的安定や QOL (生活・人生の質) 向上を目指す活動に関する基本的知識、展開例、評価の観点と支援方法について理解を深める。
	11:30 評価の観点		
	昼休憩 (50 分)		
	12:20 1 認知症ケアの基本 認知症の人の家族への	コーディネーター 吉田 祐樹	在宅で介護する家族支援を実践する上で、その家族の置かれている状況や心理、介護負担の要因を理解し、必要な支援方法が展開できる。
	13:50 支援方法		
	14:00 1 認知症ケアの基本 権利擁護の視点に	コーディネーター 大城 真也	権利擁護の観点から、認知症の人にとって適切なケアを理解し、自分自身の現状のケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める。
	15:30 基づく支援		
	15:40 1 認知症ケアの基本 地域資源の理解と	コーディネーター 室谷 美佐	関係職種、団体との連携による地域づくりやネットワークづくり等を通じて、既存の地域資源の活用や認知症の人が地域で自分らしく暮らし続けるための地域資源の開発の提案ができる。
	17:40 ケアへの活用		
	～18:00	事務連絡等	
職場実習			職場に戻り、学びを実践で活かし、自身の認知症ケアを振り返る機会をつくる。 (⇒共通ワークシート B 欄及び 2 事例を作成し、提出)

日時		テーマ	講師氏名	目的
3 日 目		受付(9:05～)		
	9:20	2 認知症の人への具体的支援のためのアセスメントとケアの実践 学習成果の実践展開と共有	コーディネーター 中村 静香	認知症介護実践者研修におけるこれまでの学習成果を踏まえ、自施設・事業所での自らの認知症ケアを実践することより、研修で得た知識を実践において展開する際に生じる気づきや疑問・課題を明らかにする。それらの自分自身の認知症ケア実践の課題や取り組みの方向性を検討し、他の受講者と共有することにより、知識の活用に関する幅広い視点を得る。
	10:20			
	10:30	2 認知症の人への具体的支援のためのアセスメントとケアの実践 生活支援のための	コーディネーター 河合 大輔	認知症の行動・心理症（BPSD）が生じている認知症の人に対して、行動の背景を理解したうえで生活の質が高められるようチームで支援できる。
	～	ケアの演習 2 (1) (行動・心理症状)		
		昼休憩 (50 分)		
	～	2 認知症の人への具体的支援のためのアセスメントとケアの実践 生活支援のための	コーディネーター 河合 大輔	認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状のアセスメントを行い、具体的なニーズを導くことができるようアセスメントの基本視点を理解する。アセスメントを踏まえた目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践計画の作成・立案・評価ができる。
	15:20	ケアの演習 2 (2) (行動・心理症状)		
	15:30	2 認知症の人への具体的支援のためのアセスメントとケアの実践 アセスメントとケアの実践	コーディネーター 岩本 陽子	
4 日 目	17:30	の基本 (1)		
	～18:00	事務連絡等		
		受付(9:05～)		
	9:20	2 認知症の人への具体的支援のためのアセスメントとケアの実践 アセスメントとケアの実践	コーディネーター 岩本 陽子	(3 日目の続き)
	12:20	の基本 (2)		
		昼休憩 (内 60 分)		
	13:20	3 実習 職場実習の課題設定	コーディネーター 福光 直美	認知症の人が望む生活の実現に向けて、適切にアセスメントを行い、課題と目標を明確にしたうえで、ケアの実践に関する計画を作成することができる。
	17:20			
4 週 間	～18:00	事務連絡等		
		3 実習 職場実習 (アセスメントとケアの実践)	受講者の各々職場にて ※チームでのアプローチを行う (個人での実習実施は欠格事由となります)	研修で学んだ内容を生かして、認知症の人や家族のニーズを明らかにするためのアセスメントができる。アセスメントの内容をもとに、認知症の人の生活支援に関する目標設定、ケア実践計画及びケアの実践を展開できる。

日時		テーマ	講師氏名	目的
5 日 目		受付(13:00～)		
	13:20 ～ 16:20	3 実習 職場実習評価 まとめ	コーディネーター 廣木 佑介	アセスメントやケアの実践計画の実施結果を整理した上で、客観的に評価、分析し職場及び自己の認知症ケアの今後の課題を明確にすることができる。
	16:50	閉会挨拶	広島市老人福祉施設連盟	

(2) 講師（研修コーディネーター（認知症介護指導者養成研修修了者））

社会福祉法人あと会 特別養護老人ホームくにくさ苑	相談支援員	室谷 美佐
社会福祉法人福祉広医会 悠悠タウン江波看護小規模多機能型居宅介護事業所	介護職員	岩本 陽子
社会福祉法人可部大文字会 特別養護老人ホーム山まゆ	施設長	梶原 宣志
社会福祉法人福祉広医会 特別養護老人ホーム悠悠タウン江波	副主任	福光 直美
社会福祉法人慈光会 特別養護老人ホーム慈光園	部長	大城 真也
社会福祉法人正仁会 看護小規模多機能ホームなごみの郷	管理者	廣木 佑介
社会福祉法人慈光会 養護老人ホーム上安慈光園	部長	吉田 祐樹
社会福祉法人広島博愛会 特別養護老人ホーム五日市あかり園	機能訓練指導員	時光 桂太
医療法人社団敬愛会安佐病院 老人保健施設希望の園	介護主任	池野 啓介
社会福祉法人和楽会 特別養護老人ホーム和楽荘	次長	河合 大輔
株式会社松広 グループホーム舟入	管理者	渡世 珠紀
社会福祉法人正仁会 特別養護老人ホームなごみの郷	施設内介護支援専門	中村 静香
訪問介護事業所つぐは	サービス提供責任者	西川 竜馬
社会福祉法人 IGL 学園福祉会 特別養護老人ホームナーシングホームゆうゆう	統括生活相談員	中本 優子
社会福祉法人 IGL 学園福祉会 特別養護老人ホーム IGL ナーシングホーム信愛の郷	介護支援専門員	小谷川 恵